

当第2四半期のポイント

- 【売上面】
- サラダ類、タマゴ類、マヨネーズ・ドレッシング類のいずれの商材も伸長
 - 分野別・業態別のきめ細やかな取り組みにより増収
- 【利益面】
- 昨年夏の北海道の台風被害などにより、ジャガイモをはじめとした野菜類の供給不足が発生
 - 原料調達コストの上昇・生産効率の低下

● 連結財務ハイライト(単位:百万円)



セグメント別営業概況

調味料・加工食品事業 83.4%

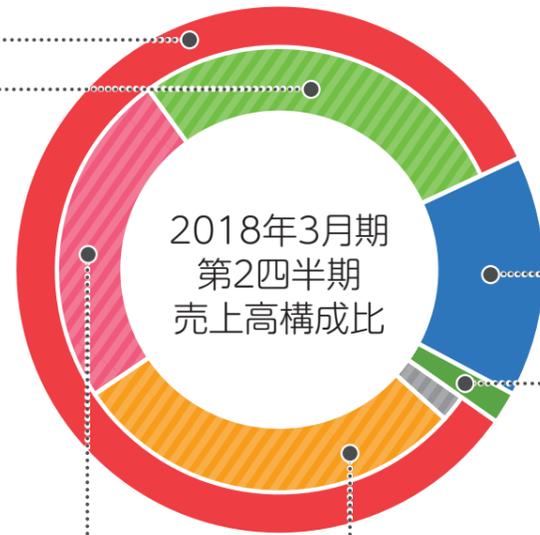
● 売上高推移 (単位:百万円)



売上高 **30,885**百万円
セグメント損益 **1,785**百万円

主な事業内容

サラダ・総菜類(ポテト/ごぼう/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売



総菜関連事業等 14.9%

● 売上高推移 (単位:百万円)



売上高 **5,501**百万円
セグメント損益 **378**百万円

主な事業内容

国内の連結子会社7社が行う事業。フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

ポイント

- 食品スーパー向けにえび、明太子、ごぼうを使用した商品が新規採用
- だし巻き卵やスープ系の商品も採用



その他 1.7%

● 売上高推移 (単位:百万円)



売上高 **635**百万円
セグメント損益 **△19**百万円

主な事業内容

ショップ事業(Salad Cafeショップ)及び海外事業

ポイント

- 関東ではグリーンサラダ、コールスロー等の葉物系のサラダが、関西ではフルーツサラダが好調に推移
- 2017年4月 和サラダ・和惣菜の専門ブランド『WaSaRa』の関東1号店となる「WaSaRa そごう横浜店」がオープン



サラダカフェ「サラダ料理講習会」

※海外事業は持分法適用会社のため売上高には含まれません。